

トピックス

サーブ & リターン

七木田 方 美

「サーブ&リターン」は大人と子どもの相互作用による関わりの大切さを表現する言葉です。

子どもの発達の原因力になる「今」を満たすために、子どもに関わる大人はその子どもの素因（気質・体質）にあわせて、個性（興味・関心・能力・主体性）や子どもの自己認識を形成し、心の発達を促すような体験を提供することが大切です。保護者や保育者は、子どものパートナーとして、その子どもが期待する通りに継続的かつ応答的なサーブ&リターンによる関わりをしましょう。

サーブ&リターンは脳の構造を構築・強化し、子どもの経験を肯定し、新しい能力を育みます。子どもの発達、特に脳の発達を支援するには親や保育者等の身近な大人は子どものことを知り、子どもの合図を読み、このサーブ&リターンと呼ばれる相互作用を行えるようにしましょう。

このサーブ&リターンは、テニスや卓球と同じです。初めてのときはうまくいくとは限りませんが、練習すればするほどうまくなり簡単になっていきます。具体的には、子どもが笑顔やクーイング、喃語、手や身体で自分の気持ちを表現するようなジェスチャーを出したとき、親や保育者等の大人は子どもがしたことを同じように返します。子どもが声を出せば、大人も同じ声を返し、何かを指さしたら、それを見て大人も指さすという具合に、双方向であることがポイントです。

サーブ&リターンは子どもから始まることもあれば、大人から始まることもあります。大切

なことは大人がどう反応するかです。

遊びの多くは相互性のあるサーブ&リターンのカテゴリーに属しますが、子ども自身によるひとり遊びもあります。

はじめて親になる保護者には、簡単で、親しみやすくリラックスできるものからサーブ&リターンを始められるように支援しましょう。遊びは、授乳や離乳食といった食事のとき、おむつ替えや着替え、入浴中など、毎日のお世話の中で自然に発生していますので難しくはありません。毎日繰り返すお世話は実は楽しく遊びながら交流でき、子どもが学ぶ絶好のチャンスなのです。

和顔愛語47巻49巻に記載した「エントレインメント」も含まれますので参考にしてください。

〈引用・参考文献〉

- 1) Center on Developing Child HEARVERD UNIVERSITY. Young Children Develop in an Environment of Relationships. working paper 1. 2009
- 2) <https://www.unicef.org/parenting/child-development/building-babies-brains-through-play-class>
Building babies' brains through play: Mini Parenting Master Class. Tips on how to boost your baby's brain development.
- 3) 七木田方美：エントレインメント. 和顔愛語2018：47：15
- 4) 七木田方美：エントレインメントは身体が整うことにより表象される「心のダンス」. 和顔愛語2021：49：1-5